

平成 25 年度（2013 年度）船の科学館基盤整備事業 事業報告書

I. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

1. 海事科学知識の普及啓発活動

船の科学館が開館以来 39 年間にわたり収集・作成してきた資料や展示物等を現在実施している事業で活用するとともに、新たな海洋博物館においても有効活用するため、収蔵品のデータベースの構築を行った。

また、海洋への興味・関心を喚起することを目的に、カヌーの操船体験教室や関係機関との連携事業等を実施した。

(1) 収蔵品データベースの整備

昨年度に更新した収蔵品管理システムに関する収蔵資料データの整備を行った。

(2) 資料の受入

- | | |
|----------------------|--------|
| ①極寒地仕様 25 色鉛筆セット 1 点 | 浦辺徹郎氏 |
| ②油彩画「支那事変蘇州城」 1 点 | 今清水義紀氏 |
| ③絵画「白瀬隊南極着」他 3 点 | 坂本節子氏 |
- 等 201 件の受入を行った。

(3) 資料の貸出

①千代田区立千代田図書館

貸出資料：統一縮尺（1/500）船舶模型 6 点

貸出期間：平成 25 年 5 月 21 日～8 月 2 日

②東京海洋大学明治丸海事ミュージアム

貸出資料：錦絵テーブル号他 3 点、燈台絵葉書 40 点

貸出期間：平成 25 年 6 月 13 日～6 月 20 日

③島根県総務部竹島資料室

貸出資料：さわれる地形模型「竹島」 1 点

貸出期間：平成 25 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

④新潟県立自然科学館

貸出資料：船舶模型しんかい 2000 他 20 点

貸出期間：平成 25 年 7 月 2 日～9 月 13 日

⑤北九州イノベーションギャラリー

貸出資料：船体構造模型他 12 点

貸出期間：平成 25 年 7 月 6 日～9 月 30 日

⑥埼玉県立川の博物館

貸出資料：船舶模型「屋形船」他 5 点

貸出期間：平成 25 年 7 月 13 日～9 月 1 日

⑦清水港湾博物館

貸出資料：元海軍従軍画家作品43点

貸出期間：平成25年7月23日～10月22日

⑧千葉県立関宿城博物館

貸出資料：船舶模型北前船他5点

貸出期間：平成25年10月1日～12月10日

⑨横浜都市発展記念館

貸出資料：船舶模型五大力船他3点

貸出期間：平成26年1月21日～4月22日

(4) 写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。

33件 66点

(5) 資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸”

他14点

借用期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

②榊商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸”

他3点

借用期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

③東京大学大学院

借用資料：船舶模型“小菅丸”

他13点

借用期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

④鉄道博物館

借用資料：船舶模型 千石船（半割）

他6点

借用期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画

他30点

借用期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

(6) 博物館活動への参加

①みなとの博物館シンポジウム(みなとの博物館ネットワークフォーラム)

開催日：平成25年6月12日

テーマ：「いま、みなとの博物館を考える」

場 所：アジュール竹芝

②日本博物館協会平成25年度全国博物館長会議

開催日：平成25年6月12日

場 所：文部科学省

③平成25年度第1回全国科学博物館協議会総会

開催日：平成25年6月13日

場 所：国立科学博物館

④みなとの博物館ネットワークフォーラム平成25年度通常総会

開催日：平成25年6月18日

場 所：フェルケール博物館

⑤日本フローティングシップ協会平成25年度定期総会

開催日：平成25年6月22日、23日

場 所：函館市青函連絡船記念館摩周丸

⑥平成25年度第1回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び日本博物館協会東京支部委員会・総会・研修会

開催日：平成25年7月10日

場 所：科学技術館

⑦日本博物館協会第61回全国博物館大会

開催日：平成25年11月7日、8日

場 所：岐阜市じゅろくプラザ

⑧みなとの博物館ネットワークフォーラムスキルアップ交流会

開催日：平成25年12月11日、12日

場 所：伊勢市せんぐう館、徴古館、伊勢神宮他

⑨平成25年度第2回全国科学博物館協議会総会及び第21回研究発表大会

開催日：平成26年2月20日、21日

場 所：北九州市立自然史・歴史博物館

⑩平成25年度第2回東京都博物館協議会常務理事会・理事会及び日本博物館協会東京支部委員会・総会・研修会

開催日：平成26年3月11日

場 所：科学技術館／国立公文書館

(7) 催事等の開催

①カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、浮力や復元性など、実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

開催期間：平成25年5月～10月

5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：215名

②講談「南極第一次観測隊物語」

講談師 宝井梅福氏が、初代南極観測船“宗谷”にまつわる物語を、臨場感溢れる講談に

して来館者に伝えた。

開催期間：平成25年4月～平成26年2月

8回

開催場所：“宗谷”士官食堂等

参加者数：106名

③セーリングカヌー操船体験教室

プロセラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの操船体験教室及びスキルアップ講習会を行った。

開催日：平成25年5月～10月

5回

開催場所：船の科学館 体験教室プール

参加者数：233名

④千石復元船「みちのく丸」東京港寄港記念特別パネル展

「千石船東廻り航路文化交流」事業で、東京港に寄港した千石復元船「みちのく丸」を紹介するパネル展を開催した。

開催期間：平成25年7月20日～8月7日

19日間

開催場所：「船の科学館別館展示場」

⑤特別展示「江戸和船」

ボランティアの中山幸雄氏が制作した江戸の町並みや港に停泊する船の様子を同一縮尺で再現した「江戸湊」のジオラマ模型を展示し、同氏による解説を行った。

開催期間：平成25年11月2日～4日

3日間

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

入場者数：782名

⑥ボランティアの展示解説

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”について分かりやすく展示解説した。

開催期間：随時

98回

開催場所：「船の科学館別館展示場」及び“宗谷”

⑦古文書解読会

青山学院大学 名誉教授 片桐一男氏及び古文書解読ボランティアグループが、船の科学館所蔵の古文書資料の解読及び基本資料「和漢船用集」の校訂作業を実施した。

開催日：平成25年4月～5月

2回

開催場所：船の科学館A会議室

(8) 共催・後援・協力事業

「海」「船」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力をを行い、海事科学知識の普及啓発に努めた。

①「夏休み東京港親子社会科見学会」

開催期間：平成25年8月9日

開催場所：船の科学館、青海客船ターミナル他

主催：東京都港湾局

参加者数：272名

②第12回水ものフェスティバル in 船の科学館

開催期間：平成25年8月31日

開催場所：船の科学館 体験教室プール

主催：水ものフェスティバル in 船の科学館実行委員会

参加者数：40名

③青函連絡船講演会

・第2回講演会

開催期間：平成25年7月27日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：25名

・第3回講演会

開催期間：平成25年10月12日

開催場所：船の科学館本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：20名

II. 海洋に関する博物館事業

1. 「船の科学館別館展示場」の公開

船の科学館別館展示場の公開については、国連海洋法条約における日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や「海を守る」と題したコーナーを中心に収蔵品の中から一部資料を公開して展示活動を行った。

入場者数	80,422名
公開日数	314日
当館の休館日に伴う未公開日数	51日

Ⅲ. その他財団の目的達成に必要な事業

1. 海洋及び船舶に関する研究

船の科学館が開館以来39年間にわたり収集・作成してきた資料を体系的に整理するとともにデジタル化し、分野毎に「船の科学館収蔵資料目録」を作成した。

(1) 発行資料

①船の科学館収蔵資料目録2<海軍従軍画家>

船の科学館収蔵絵画のうち、海軍従軍画家の作品294点のリスト化を図るとともに、代表的作品163点についてはカラー写真を掲載し画家の略歴などを紹介した。(書籍・電子データ)

②船の科学館収蔵資料目録3<海洋船舶画>

船の科学館収蔵絵画のうち、海洋船舶画家の作品210点のリスト化を図るとともに、代表的作品92点についてはカラー写真を掲載し画家の略歴などを紹介した。(書籍・電子データ)

③船の科学館収蔵資料目録4<絵図>

船の科学館収蔵絵画のうち、絵図220点のリスト化を図り、電子データ化した。

④船の科学館収蔵資料目録5<錦絵>

船の科学館収蔵絵画のうち、錦絵357点のリスト化を図り、電子データ化した。

⑤船の科学館収蔵資料目録6<宗谷>

船の科学館が所有する宗谷の改造図面その他貴重な資料を電子データ化した。

2. 来館者の誘致と広報活動

船の科学館別館展示場及び初代南極観測船“宗谷”等の来場者の誘致を図るため、「海」「船」「環境」等をテーマとした行催事への共催・後援・協力を行うとともに、地元の教育機関、自治会、マスコミ等に広報活動を展開したほか、交通媒体の利用やテレビ、新聞・雑誌等の取材協力、ホームページ等のウェブを活用した広報活動を行った。

(1) 標識掲出及び交通広告の実施

道路標識看板(港区・江東区)	2基
新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」案内看板	1基

3. 諸施設の利用状況

来館者用駐車場(乗用車約400台と大型バス15台)の運営のほか、船の科学館別館展示場等で当財団発行資料の販売等を行った。

なお、本年度の船の科学館利用者は、以下のとおりとなった。

(1)「船の科学館別館展示場」入場者数	80,422名
(2)「初代南極観測船“宗谷”」乗船者数	64,401名

(3) 「カヌー操船体験教室」等催事参加者数	1,336名
(4) その他共催・協力等の催事参加者数	5,790名
合 計 (のべ人数)	151,949名